

ひまわり



第21回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 細川 美恵 様

- 2 敬老特集 ● 長寿番付2025
- 3 キッズボランティアの取り組み
～若手職員が未来の福祉を育む～
- 4 ▶ 5 第33回職員合同研修会
- 5 (株)NAGARAと連携協定を締結
- 6 ▶ 7 各施設夏祭り開催
- 8 連載vol.74 ● [記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 9 ▶ 12 各施設トピックス
- 13 福寿園ニュース
- 14 たぶトピ
家族会だより
- 15 連載
 - 外国人介護士 紹介インタビュー
 - 祝出産! ベイビーちゃんいらっしゃ〜い
 - 4コマまんが フクちゃん
- 16 はぐくむ会社会還元事業ご案内
福寿園野外フェスご案内

183号

令和7年9月10日

3年連続最高齢



田中しやうさん(107歳)
(豊田福寿園)

祝敬老 おめでとうございます

お健やかに敬老の日を迎えられますことに、心からお慶び申し上げます。

祝敬老

福寿園長寿番付(二〇二五)

令和七年秋場所
年齢はすべて令和七年八月末日現在です。
(敬称略)

東

横綱	三田中しやう	107歳
大関	三杉浦	103歳
関脇	田原大場	103歳
関脇	長尾	103歳
小結	服部	103歳
前頭一	森	102歳
同二	渡美小久保千里	102歳
同三	渡美杉浦	102歳
同四	田原關目	102歳

五花の里	前島	木美子	101歳		
六花の里	木村	毅	101歳		
七花の里	中野	政子	101歳		
八花の里	山下	多美子	100歳		
九花の里	伊藤	ソノ	100歳		
十花の里	田原	服部	100歳		
同十一	渡美	中村	アイ	100歳	
同十二	花の里	山本	志貴子	100歳	
同十三	田原	鈴木	富美子	100歳	
同十四	花の里	宮川	福子	100歳	
同十五	花の里	武蔵	小林	ミツ	99歳
同十六	花の里	武蔵	竹田	かず子	99歳

十両一	渡美	河合	八千代	九九歳
同二	豊田	山本	てる	九九歳
同三	渡美	小坂	光子	九九歳
同四	渡美	荒川	鈴枝	九九歳
同五	渡美	杉浦	重二	九九歳
同六	渡美	田原	道子	九九歳
同七	渡美	渡邊	久子	九九歳
同八	渡美	横田	富有	九九歳
同九	渡美	原田	スギ子	九九歳
同十	渡美	伊藤	定子	九九歳
同十一	渡美	久野	トシ子	九九歳
同十二	渡美	神原	はな	九九歳
同十三	渡美	河邊	みつ子	九九歳
同十四	渡美	小久保	美知	九九歳

西

横綱	花の里大島	ヤス子	105歳	
大関	山田	保範	103歳	
関脇	伊藤	美鶴	103歳	
関脇	阿部	よね子	103歳	
小結	田原	中神	代子	103歳
前頭一	渡美	原	よね	102歳
同二	渡美	八木	てる	102歳
同三	渡美	日高	ユキ子	102歳
同四	花の里	大谷	美八子	102歳

五花の里	増田	ヨシ	101歳	
六花の里	高瀬	三郎	101歳	
七花の里	杉浦	ゆり	100歳	
八花の里	松山	秋枝	100歳	
九花の里	松嶋	一子	100歳	
同十	渡美	大岡	功	100歳
同十一	渡美	田中	鏡子	100歳
同十二	渡美	小川	うた	100歳
同十三	渡美	赤澤	徳夫	100歳
同十四	渡美	中嶋	敏雄	99歳
同十五	渡美	寺澤	よし	99歳
同十六	渡美	太田	友二	99歳

十両一	美森	下	ちよ子	九九歳
同二	渡美	板倉	松枝	九九歳
同三	渡美	渡會	秀子	九九歳
同四	渡美	鈴木	啓示	九九歳
同五	渡美	三宅	ふよ	九九歳
同六	渡美	小出	君子	九九歳
同七	渡美	岩月	繫子	九九歳
同八	渡美	竹内	米子	九九歳
同九	渡美	新行	内愛子	九九歳
同十	渡美	久松	うめ	九九歳
同十一	渡美	杉村	キミ子	九九歳
同十二	渡美	湯川	カキ	九九歳
同十三	渡美	深見	昭乃	九九歳
同十四	渡美	渡邊	静枝	九九歳

キッズボランティアの 取り組み

～若手職員が未来の福祉を育む～



地域の小・中学生を対象に、夏休みを利用した「キッズボランティア事業」がスタートしました。この事業のユニークなところは、各施設で働く若手職員が「子どもたちにどんな体験をしてみらおう?」とアイデアを出し合い、企画している点です。福祉の魅力を伝えるだけでなく、



自分たちの活動が地域に役立っていることを実感できる、職員にとっても大切な時間となっています。体験メニューは盛りだくさん。車いすや入浴機器にふれてみたり、とろみ食や刻み食を味わってみたり。夏祭りでは模擬店のお手伝いをしたり、高齢者の方とレクリエーションや会話を楽しむ場面もありました。実際に参加した子どもからは「とろみジュースはゼリーみたいでおいしい!」「困っている人を助けられてうれしかった」



といった声が飛び出しました。子どもの頃の体験が、将来の進路や生き方につながることもあります。このキッズボランティアも、そんな未来へのきっかけになるかもしれません。





第33回 職員合同研修会

第33回 職員合同研修会開催

7月15日、ロワジールホテル豊橋にて、第33回職員合同研修会が開催され、法人内各施設から271名の職員が一堂に会しました。

冒頭の式典では、永年勤続者の表彰が行われ、35年勤続者をはじめとする99名に感謝状が贈られました。

午前中には、古田理事長より「雲外蒼天」と題した基調報告があり、法人設立45周年、介護保険施行25年の節目を振り返りながら、先の見えない時代においても、困難の先にこそ明るい未来があるというメッセージが語られました。あわせて、今後の法人の方向性や具体的な取り組みについて、参加者と共有されました。

午後からは、外部講師による3つの講演が行われました。

まず、「身近なDXから未来の介護DX」と題し、コニカミノルタQOLソリューションズ株式会社の藤井琢也様、コニカミノルタ株式会社の岡田真和様より、DXやデジタル技術について身近な事例を交えた定義の説明や、「HitomeQケアサポート」の実践

的な活用例を交えて未来の介護DXの可能性と展望をお話しされました。

続いて、有限会社キャリア・サポート代表取締役の三厨万妃江様からは、「働きやすい職場づくり〜一人ひとりができること〜」をテーマに、働きやすさと働きがいについて一人ひとりができることや、職員間のマナー等の「凡事徹底」の大切さをご講義いただきました。

最後に、ラジオ「テレフォン人生相談」でもおなじみの、非営利一般社団法人大慈学苑代表・玉置妙憂様をお迎えし、「生き方・逝き方に向き合う〜セルフスピリチュアルケアのすすめ〜」と題して、福祉・介護に携わる者としての心の持ちようを見つめ直す貴重なお話を伺いました。

研修会終了後には合同懇親会も開かれ、職員同士の久々の再会や交流を通じて、法人全体の連帯感を改めて実感する機会となりました。

今回の学びを糧に、明るい未来を照らす福寿園を目指して、さらなる発展に取り組んでまいります。



金賞 松田美空さん(みなみ福寿園) [右]
 銀賞 山田竜太さん(養護盲福寿園) [左]
 銅賞 竹下大也さん(くすのきの里) [施設にて表彰]



講演する玉置妙憂氏

株式会社NAGARAと連携協定を締結

社会福祉法人福寿園は、株式会社NAGARAと「福祉分野におけるICT活用及び音声特化型AIの社会実装に関する連携協定」を締結しました。NAGARAが開発する音声AI介護記録ソフト「ながらかいご」の実証実験やICTリテラシー向上を目的とした研修を共同で推進します。この連携により、介護職員が本来のケア業務に専念できる環境を構築

し、地域福祉の質の向上を目指します。福寿園は、若い世代の技術と熱意を活用し、職員のスキルアップやモチベーション向上を図るとともに、介護業界の魅力を広く発信していきます。地域福祉の未来を共創する取り組みに期待が寄せられています。



●株式会社NAGARAとは
 豊田高専発のAIスタートアップ企業。開発した音声AI介護記録ソフト「ながらかいご」がDICON2025にて最優秀賞受賞。企業評価額7億円。2025年7月に起業し、名古屋のSTATION Ai内に本社を構える。



今年も各施設で夏祭りが開催されました。浴衣を身にまとい、やぐらを囲んで盆踊りの輪が広がると、太鼓のリズムに心も身体も踊り出します。飲食バザーでは行列ができるなど大盛況。ビールやラムネで喉を潤しながら食べるバザー品は格別の美味しさです。ゲームコーナーでは、はしゃぐ子どもたちの姿も見られました。お年寄りから小さなお子さんまで、夏の暑さを吹き飛ばす、賑やかで楽しい夏祭りを過ごされました。ご参加いただきましたご家族や地域の皆様、ボランティアの皆様、ありがとうございました。



8/1

養護盲福寿園・田原福寿園

納涼祭



7/19

昭和の里

昭和の里祇園祭



8/2

花の里

花宵まつり



7/26

渥美福寿園

夏祭り



8/2

豊田福寿園

夏祭り



7/27

東海福寿園

夏祭り



令和7年度 夏祭り 開催

8/9 ひまわりの街
夏まつり



8/2 武豊福寿園
納涼大会



8/23 ケアハウスきぬうら
きぬうら夏祭り



8/3 くすのきの里
くすのきまつり



8/29 ひまわり邸
夜邸会



8/8 みなみ福寿園・ケアハウスみなみ
みなみ横丁



連載 74

記録に残したい記憶 〜貴重な体験を語り継ぐ〜

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。



寺田 力雄さん
(東海福寿園)

プロフィール

生年月日：昭和6年11月28日
年 齢：93歳
好きな食べ物：塩ゆでの落花生
性 格：お話が大好き
趣 味：書道

私は1931年に知多郡横須賀町大字大田で生まれました。幼少期は私は風のように自由でした。徒競走では誰よりも早く駆け、水泳では波と戯れました。相撲や鉄棒も得意で、運動神経には自信がありました。そんな私が14歳になった1945年、徴兵検査に合格しました。家族は私の帰らぬ可能性を受け止めなければならず、無言の時間が増えたのです。しかし、間もなく終戦となり、命を奪われることなく過ごせたのは、ただただ運命の巡り合わせで

した。終戦後、私は家業(半農半漁)を継ぐことになりました。やがて、産業の進出とともに大田町の海は埋め立てられ、東海製鐵(株)が進出しました。それを機に家業の海苔の養殖は幕を閉じ、私たちは補償金を受けて内陸部へ農地を買いました。新たな挑戦として、ビニールハウスでの促成フキ栽培を始めました。春の訪れとともに収穫できるこの栽培方法は功を奏し、のちに東海市はフキの一大産地となりました。

私の人生の転機は妻、貞江と結婚したことでした。彼女は私の人生の支えであり、共に歩むべき大切な存在でした。1男2女を授かり、家族とともに穏やかな日々を過ごしました。1973年、私は42歳で東海市市議会議員選挙に立候補し、当選を果たしました。それから6期24年間にわたり、市政の発展に尽力しました。

しかし、60歳のときに脳梗塞を患い、2000日以上の入院生活を送りました。幸い後遺症もなく回復し、議員としての務めを続けることができましたが、健康の尊さを改めて感じました。その後、太田川駅周辺の再開発事業に関わり「ユウナル東海」の設立組合理事長として尽力しました。地権者との調整、行政との交渉、建設業者との折衝そのすべてに心血を注ぎました。そして2015年、ユウナル東海が完成しました。建物の1階ロビーには、私の書道作品「勇氣」が飾られています。これが、私がこの街に残した小さな足跡です。



妻と一緒に参列した甥の披露宴にて



旭日双光章受章式にて



理事長 寺田力雄

ユウナル東海に展示されている書道作品

度も話し合い、思い描いた新居が2010年に完成す

くすのきの里デイサービス

居酒屋くすくす、二日営業

7月22日に居酒屋 행사를開催しました。当日は厚焼き玉子や焼き鳥などの王道ラインナップに加え、キンキンに冷えたビールも提供。乾杯の合図とともに飲み干し、すぐに「おかわり！」と声が上がる方もみえました。ほろ酔い気分になった後は、カラオケ大会開催♪ご利用者と職員がペアでデュエット曲を採点付きで歌いました。事前にどのペアが一番になるか予想してもらい、「私、あなたたちに入れたから頑張っつね」とエールを送る方もいました。千鳥足

渥美福寿園デイサービス

梅で夏の暑さも乗り切ろう!!

今年初めての利用者さんと一緒に梅を収穫し、梅シロップと梅干し、梅



ふりかけを作りました！実を収穫したらカメに入れて数日間漬け込み、天日干し。途中で「うまくできているかな？」と気になりカメの中を覗き込む利用者さんも多かったです。残った梅は、一度冷凍庫で凍らせてから、氷砂糖で漬け込みました。梅シロップを冷たい水で割ると、夏の暑さにも負けない梅ドリンクのできあがり。作ったものを昼食に皆さんで食べました。とても美味しく、楽しい時間を過ごせました！



は無事営業を終りました。

豊田福寿園デイサービス

光と色の魔法〜モネの世界へ〜

朝からしとしとと雨が降り続く中、モネ展が開かれている豊田市美術館へ行きました。入り口を潜った瞬間「わあ、きれい」と利用者さんの小さな声。静けさと柔らかな光に包まれ、まるで時がゆっくりと流れ始めたようでした。「睡蓮」の前では皆さん足を止めしばし無言に。



利用者さんが「水面が本当に揺れているみたいだね」と。絵の前で何度も首をかしげ、どうやって書いているのか興味津々。作品の景色を見て昔を思い出され、うっすらと涙が浮かんでいる利用者さんも見えました。単なる美術鑑賞ではなく、一人ひとりの心の奥に眠っていた思い出や感情を静かに呼び覚ます時間でもありました。帰りのバスの中「また行きたいね」と声が上がリ、その表情は行きよりもずっと柔らかく、優しい表情でした。

武豊福寿園デイサービス

日本の夏をもう一度

暑い夏の日に、「日本の夏を感じまくる」イベントを開催しました。うちわづくりや和太鼓演奏による盆踊りなど、色々な催し物がありましたが、一番の目玉は「流しそめん」でした。5メートル



ル以上の竹の流し台を用意し、冷たいそめんが勢いよく流れていくのを利用者さんが箸で「えい！」と突いては、上手に取れてもそうでなくとも大盛り上がりでした。今回のイベントは外部関係者やご家族の方々も参加され、当日見えたご家族からも「ゆっくり話せてよかった」との声が聞かれました。

ケアハウスみなみ

キャップ簡単に開けられますシート作製

日々の暮らしの中で「ちょっと困った」を解決するために、手芸の得意な入居者が心を込めて作られた「キャップ簡単に開けられます」シート。誰もが安心してキャップが開けられるように、そしてかわいく素敵にな



るように、一針一針丁寧に仕上げられました。完成した作品を手にとると、温もりと優しさが伝わり、使うたびに笑顔が広がります。この小さな道具には、暮らしを快適にしたいという思いやりと、ものづくりを楽しむ心がぎゅっと詰まっています。秋のみなみ福祉まつりでは、高齢者パワ―全開で、地域の皆様にも提供できるよう作品作りを行っています。

木田の里

いびども食堂開催!

6月から毎月最終木曜日に福寿の湯1階にて、こども食堂を開催して

います。その名も「木田ほかほか食堂」です。17時にオープンし、食事とイベント・ゲームを楽しみます。始めのゲームは「紙を工夫して的近づくチャレンジ!」。折ったり丸めたり思い思いの形にした紙が次々と飛び、笑い歓声で大盛り上がり



り。優勝者にはソフトクリーム券をプレゼントしました。この日のメニューはカレーライスで、子どもたちは食事を楽しんでいました。食後はピエロが登場し、風船アートを披露しました。子どもたちの目はキラキラ輝いて、会場は笑顔でいっぱいになりました。また、就労継続支援センターの利用者や、サービス付高齢者住宅の入居者にボランティアをしていただき、世代や障害の有無を超えた関わりができました。

デイサービスきぬうら

JOYレクオンライン



今年度から、JOYSOUNDによる「JOYレクオンライン」を取り入れました。毎回レクリエーションのテーマやパフォーマーが違うので、みなさん飽きずに楽しそうに体操やクイズに参加されています。この日はおっしょさん先生による体操プログラムでしたが、先生から「デイサービスセンターきぬうらのみなさん」と呼び掛けられると、カマラに向かって大きく手を振ったり、体操にも熱心に取り組みられています。普段はリハビリに積極的でない方も、全員で一緒に取り組めることで参加しやすく、取り入れることができ良かったです。

ひまわり邸デイサービス

100歳のおすそ分け

7月26日、100歳を迎える方のお誕生日をお祝いしました。100歳のお祝い看板も作製し、利用者、職員みなでお祝いをしました。花束とケーキをプレゼントし、本人も「ありがとう!100歳まで長生きして良かった。また寿命が延びたわ」と喜んでいただけました。記念日を共に過ごすことができ



嬉しく思います。今後も一日も長く楽しく通っていただけるように、良いサービスをしていきます。

昭和の里

豊橋の中心からの眺望

先日、豊橋市役所へ行ってきました。市役所の地下駐車場から13階までエレベーターで一気上がり、エアコンのきいた展望ロビーは夏のお出かけにピッタリ。最上階からは市内が一望でき、天気が良ければ、田原の蔵王山や三河湾まで眺められます。展望フロアには豊橋の歴史が展示され、路面電車のある風景や駅前がどのように変化してきたかが



まとめられています。豊橋の駅前の風景も随分変化してきました。マルブツ百貨店なんて懐かしいねえ」と展示に夢中になりながら、フロアを一周して自分の家は見えないかと探したり、昭和の里を見つけたら…。その後、れすとらんタヤけでおやつを食べ、豊橋の歴史や思い出話に花が咲きました。

田原ゆの里デイサービス
デイサービスの夏!

今年のご家族も招待して夏祭りを開催しました。会場には職員手作りの



の風鈴を飾りました。利用者からは「本当のお祭りみたい」「毎年楽しみにしているよ」と喜んでいる様子でした。飲食コーナーでは、かき氷やベビーカーを提供し、皆様に夏の味を楽しんでいただきました。ゲームコーナーでは、射的やヨーヨー釣りを用意しました。利用者同士の笑い声や歓声があふれ、とてもにぎやかな雰囲気でした。今回の夏祭りは利用者だけでなく、ご家族との交流の機会にもなり、職員としてもとても楽しく充実した一日となりました。

ちた福寿園デイサービス

大興寺大日竹灯籠祭

知多のだるま寺・大興寺の竹灯籠祭に向けて、ご利用者と一緒に絵を描き、塗ったり、それを竹に貼ったりなどしました。ご利用者の中には地元が大興寺の方もみえ、竹灯籠の作製はベテランの手つき。「他にはないの?」とやる気満々! 慣れていない方も含め、皆様真剣な表情で取り組まれ、個性豊かな竹灯籠が完成しました。当日



は、地域の方々の作品も含めた竹灯籠が、夜に幻想的な光を放ち、訪れる人々を優しく迎えてくれました。毎年恒例の行事ですが、地域のつながりを感じることができた素敵な時間となりました。

田原福寿園本館

オリジナル☆フルーツポンチづくり

連日最高気温が30度を超す暑さ続く夏、入居者の皆さんはおやつフルーツポンチづくりに挑戦しました。黄桃やパイナップル、バナナなどのフルーツを食べやすい大きさにカットし、シユワシユワはじけるサイダーとお好みの色のシロップを注げば…



フルーツポンチの完成!! 入居者の皆さんは、「どの色のシロップにしようかな?」「アイスクリームもトッピングしちゃおう!」と自分好みのオリジナルフルーツポンチづくりを楽しまれています。

花の里

かき氷女子会

7月9日に、特養とショートステイの女性利用者が花の里のレストランに集まり、みんなでかき氷を食べ



ました。いちごや宇治抹茶、紅茶などたくさん種類のから悩み、大きなかき氷が運ばれてきたときには大喜び

されていきました。食べながら色々な会話に花を咲かせていました。暑い日が続く中、涼しい夏を感じる事ができました。

ケアハウスパシフィック

夏の緑の果実

門扉を通り抜けて施設に向かう先には、夏を感じる緑のカーテン。よく見ると、個性的な実が…なんと可愛らしいひょうたんが育っています。

居者の鑑賞スポットになりました。集まる方が心を込めて水やりを手伝ってくれ、そのおかげで順調に結実しました。今後収穫して、入居者と職員によるひょうたんの作品作りを行います。楽しみに思い、その時を待ちたいと思います。



6月に日よけ用として植え始めたところ、ぐんぐんと成長。次第に入



ひまわりの街ショートステイ

ミニ花火大会開催!

7月22日、ショートステイの中庭にて、お楽しみ会で花火を行いました。吹き出し花火や手持ち花火をご利用者と職員の家族も一緒に楽しみました。共有スペースからも見ただけのようにし、外へ出られない方にも室内から花火を楽しんでいただきました。「花火なんて久しぶりだわ!」と喜ぶ声が上がったり、子供たちが楽しそうに花火をしている姿を嬉しそうに眺めたりと、まだ暑い夏の夜を楽しんで過ごしていただけました。



養護盲福寿園

手作り陶芸にお菓子を添えて

「せっかく自分だけのオリジナルのお皿を作ったので、皆でお茶会をしましょう!」

その一言で開催が決まった陶芸クラブのお茶会。自分のお皿に、おいしいお茶菓子に乗せて楽しむひと時に参加された入所者の方達も大変喜ばれておりました。「また新しい作品ができたね、こうやってお茶会がしたいね。今度は何を作ろうかね」と次回の作品作りを考えながら、談笑を楽しまれていました。



東海福寿園

コーヒーの香りと、夏の思い出

8月の良く晴れた暑い日、入居者さんと一緒に、近くのコメダ珈琲へ出かけました。大きなソフトクリームに思わず笑顔、香り豊かなコーヒーにほっと一息。「昔はよく喫茶店に行ったな」と懐かしむ声も聞かれました。ゆっ

たりとした店内で会話が弾み、笑顔溢れる時間になりました。心も体もリフレッシュできた、夏の素敵な思い出となりました。



大相撲名古屋場所観戦

今年の大相撲夏場所は、新設されたIGアリーナのこけら落としでの開催。新横綱大の里の初陣など、新時代を感じさせる場所となりました。熱い名古屋場所四日目、利用者、職員総勢24名が桝席に勢ぞろい。昨年より広くなった桝席で、お弁当を広げながらの観戦もゆったり楽しめます。また、親方売店でお土産選びに夢中の方、お相撲ガチャを楽しむ方、持参の応援グッズを手に声援に余念がない方、相撲の楽しみ方も十人十色です。中入り後の幕内力士の取組は迫力満点で、あっという間に結びの一番。新横綱大の里は王鵬に敗れ座布団が飛び交います。私たちも初の座布団飛ばしを体験し、相撲の醍醐味を満喫した熱い一日となりました。



3年目研修会

7月3日、ホテルシーパレス豊橋において、3年目研修会が開催されました。この研修は段階的研修の一環として、毎年入社3年目の職員を対象に実施しているものです。今回は、令和5年4月採用者等を中心に、62名の職員が参加しました。入社のは東海市の木田の里がオープンした年でもあり、障がい福祉サービス職員や保育士など、さまざまな職種の間が加わった節目の世代です。



研修内容は、古田理事長の講義・演習を始め、認知症ケア、職場でのコミュニケーション、喜びの名刺交換等グループワークを中心としたプログラムでした。また、「私の3年目の経験から」と題し、2人の施設長より自身の3年目の体験談や思いを話してもらいました。

入社時はコロナ禍が明ける直前であり、十分な集合研修を受けられない環境にありました。しかし、グループワーク等を通じ、職種の垣根を越えて多様な意見や価値観を共有し合うことができ、終始和やかな雰囲気の中で進行了ました。同期職員同士の再会を喜び合い、それぞれの施設等で頑張る仲間の姿に刺激を受ける場ともなりました。

また、研修会後に懇親会も開かれ、参加者の所属施設長も交え、楽しいひとときを過ごすことができました。

「あいふくオンラインショップ」オープン!

あい福の里就労継続支援センターで、大切に育てたサツマイモから作った、芋焼酎『あいふく』は、シルクスweetを原料にした珍しい本格芋焼酎です。甘みが豊かで優雅な香りと、まろやかな風味が特徴のさつま芋を使用しており、上品な仕上がりとっております。現在、地元の道の駅などで好評販売中です。そして10月より新しく開設する「あいふくオンラインショップ」にて販売を開始します。ぜひ、ご家族やご友人への贈り物に、またはご自身へのご褒美にいかがでしょうか。

あいふく Online Shop

本格芋焼酎あいふく

1,760円 (税込)

1 個

カートに入れる

商品	本格焼酎
アルコール分	20%
内容量	500ml
原材料名	さつまいも(愛知県産国産米)、米こうじ(国産米)

バンテリンドーム野球団体観戦



毎年恒例のバンテリンドーム団体観戦は、今年も多く多くの職員と職員の子どもが参加し、今年は若い職員たちが多く参加してくれたこともあり、例年より応援に活気がありました。応援グッズとビールを持って、応援にも熱が入り、みんなお酒も進みます。試合は応援とは裏腹に中日が打てず、あまり盛り上がりがない試合となってしまいましたが、ベースターズファンの職員は大喜び。試合は中日が負けてしまいましたが、みんなで野球観戦し、楽しい1日となりました。

たっぴくこどもキャンプ2025

田原福祉グローバル専門学校

今年も田原市内の小学3年生以上の児童を対象に、『たっぴくこどもキャンプ』というイベントを開催しました。募集定員100名を一日で超えるなどの盛況ぶりもあり、企画を考えた田原福祉グローバル専門学校の学生も大盛り上がり。脱出ゲームや車いす体験など、様々な福祉にまつわるゲームなどを校内を使って行い、児童の笑顔も多く見ることができました。学生からは、児童のうちから福祉に触れ合ってもらい、少しでも福祉に興味を持ってもらえたら嬉しいとの声がありました。



介護入門講座

田原福祉グローバル専門学校



田原、豊橋地域の人材活用促進事業の一環とした東三河広域連合の委託事業として、介護入門講座を5週にわたって開催しました。介護の基礎知識や技術を中心に、講義や実技を交えながら楽しく学んでもらいました。介護に興味がある方や介護を学んでみたいと考えている方は、来年も実施する予定ですので、ぜひ介護入門講座で楽しく学んでほしいと思います。

7月に行われる夏祭りに向けて、家族会36名と多くの会員が参加され、施設外の環境美化活動を行いました。
炎天下の中でしたが、家族同士や職員と楽しく会話をしたり、交流をしながら作業を行っていました。



渥美福寿園 環境美化活動

各施設で家族会や家族親睦会の活動を報告します。

家族会だより

花の里 環境美化活動

き、とても綺麗になりました。7月26日の夏祭りも多くのご家族や地域の皆さまが来園され、賑やかに行うことができました。ご協力ありがとうございました。

7月14日に、21名のご家族に参加していただき、8月に行われる花宵祭りに向けて園内の草取りを行いました。30℃の気温の中、水分補給をしながら行いました。短い時間でしたが皆さんの手際が良く、とても綺麗になりました。
草取り後の懇親会では、花の里のレストラにてコーヒーを飲んでいただき、涼んでいただきました。



福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.18

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在108名(フィリピン人 69名、ベトナム人 30名、インドネシア人 9名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?
- A 福寿園の求人広告を見て、日本語や日本文化を学ぶことは良い経験になると思いました。もともと言語を学ぶことに興味があるので、チャンスをつかみたいと思いました。
- Q 休日は何をして過ごしていますか?
- A 旅行が大好きです。いろんなところに観光に行って、アクティビティを体験したり、現地の料理やカフェを楽しむのが好きです。
- Q 好きな日本の食べ物は何かですか?
- A お寿司や刺身が好きです。特にプリです！うなぎも好きです。フィリピンにもありますが、日本の作りの方がおいしいと思います。
- Q 日本で行ってみたい場所がありますか?
- A 日本に来る前に行ってみたかったのが岐阜県の白川郷です。すでに3回行きましたがまた行きたいです！
- Q 好きな日本のテレビ番組はありますか?
- A テレビはあまり見ませんが、見る時は旅行関係の番組を見ています。
- Q 最後に一言お願いします。
- A 若くて健康なうちに、人生を思いきり楽しもう！



グアテララ ジュミカ
グレースドマル
ニックネーム
ジュミカ
ひまわりの街
国籍:フィリピン



新連載

祝出産!

ベイビーちゃん、いりっしゅ〜り

新しい家族が増えました



お子さんのなまえ

れん たろう
簾大朗ちゃん(男の子)

生後9か月

生年月日 令和6年11月2日生まれ

名前の由来 簾(すだれ)が強い日差しから植物を守っているように弱き者を守る人で、大きな心をもって、朗らかに育つように思いを込めました。

特徴 見た目は大きな一重まぶた。性格は猪突猛進!

武豊福寿園職員

松本 あすか

《現在育児休業中》



第7回 みんなではぐくむ福祉の心

にしおかすみこさん



トークショー
笑って向き合う
家族のカタチ

「ポンコツ家」のリアルな日常

お笑い芸人・エッセイスト
講師 にしおかすみこさん

入場
無料

令和7年 11月2日(日)

午後1時30分～午後4時15分(開場:午後1時)

豊田市福祉センター 大ホール

豊田市錦町 1-1-1 ☎0565-34-1131

お問合せ

ひまわりの街 — tel.(0565)51-0880

豊田福寿園 — tel.(0565)45-8880

みなみ福寿園 — tel.(0565)24-8888

ひまわり邸 — tel.(0565)33-0800

主催 ● 社会福祉法人福寿園 ● 福寿園をはぐくむ会「^{のぞみ}未来」

後援 豊田市・豊田市社会福祉協議会

午後1時30分～
オープニングアクト

豊田大谷高等学校吹奏楽部

第1部
午後1時50分～
式典

第9回「福祉の心」絵手紙表彰式

第2部
午後2時45分～
トークショー にしおかすみこ氏
笑って向き合う、家族のカタチ

～「ポンコツ家」のリアルな日常～

(聞き手)パーソナリティ:林ともみ氏

福寿園野外フェス2025
～in芝生広場～

開催予告 どなたでも
入場は無料です。

お誘いあわせのうえ、ご来場ください。
みなさんのお越しをお待ちしております。

養護盲福寿園・田原福寿園

10月19日(日) 11:00～15:00

- 福祉の心絵手紙表彰
- 飲食バザー ● ゲームコーナー
- 福祉体験スタンプラリー 他



川中美幸歌謡ショー

大阪府出身の国民的演歌歌手

■ 代表曲

- 「ふたり酒」「二輪草」「越前岬」
- 「おんなの一生～汗の花～」
- 「遣らずの雨」「豊後水道」など

日本レコード大賞 最優秀歌唱賞、
文化庁芸術祭大賞など数々の栄誉
に輝く



令和7年9月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園

■理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008

<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。

